

塩竈市議会だより

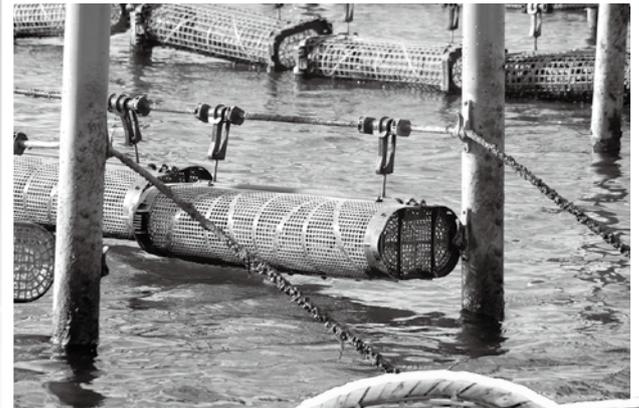
**令和3年
12月定例会号**

- 議案審議の概要 など P 2
- 常任委員長報告 など P 3
- 会議録について など P 4
- 市政に対する一般質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表 など P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Feb.2022 (令和4年2月)
ホームページアドレス <https://www.city.shiogama.miyagi.jp/life/5/36/>

【塩竈市議会HP QRコード】
市議会の情報は市議会HPでご覧になれます。

塩竈から海外へ！ 新しい浦戸の養殖牡蠣



定例会のあらまし

令和3年12月定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の会期で開催しました。
本会議の初日では、まず、議会運営委員会の委員の選任をし、産業建設常任委員会所管事務調査報告を行いました。

その後市長より提出議案の説明を受け、総括質疑を行った後、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。また、議案1件を即日審議の上、可決しました。

長期総合計画特別委員会及び各常任委員会は4日間開催し、継続中の議案と付託した議案の審査を行いました。本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。

最終日には、長期総合計画特別委員会委員長及び各常任委員会委員長から審査結果の報告を受け、継続審査となっていた議案1件と議案7件を可決しました。

また、追加議案1件が上程され、市長より提出議案の説明を受けた後、即日審議の上、可決し、閉会しました。
(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

本会議	12月9日	会期の決定、議会運営委員会の委員の選任、産業建設常任委員会所管事務調査報告、諸般の報告、議案説明、議案審議及び採決、総括質疑及び議案付託
委員会	12月13日	長期総合計画特別委員会
	12月14日	総務教育常任委員会
	12月15日	民生常任委員会
	12月16日	産業建設常任委員会
本会議	12月17日	市政に対する一般質問
委員会	12月20日	市政に対する一般質問
委員会	12月21日	議会運営委員会
本会議	12月22日	長期総合計画特別委員会委員長報告、各常任委員会委員長報告、議案審議及び採決、追加議案説明・審議及び採決

補正予算26億3158万4千円可決

12月定例会における一般・特別会計の補正予算は26億3158万4千円で、補正後の予算総額は535億7876万3千円となりました。

主な事業は次の通りです。

一般会計

1 国の予算を活用した事業

【補正額25億8804万円】
14億5836万7千円

①子育て世帯への臨時特別給付事業

【補正額】
 7億1562万3千円

0歳から高校3年生まで1人あたり10万円を給付(所得制限あり)

②住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業

【補正額】
 7億4274万4千円

住民税均等割の非課税世帯などへ10万円を給付

2 新型コロナウィルス感染症対策事業

【補正額】
 1億5458万4千円

①新型コロナウィルスワクチン接種事業

【補正額】
 1億5458万4千円

ン接種事業

【補正額】
 1億6118万7千円

3 東日本大震災関連事業

【補正額】
 8億6524万4千円

①国庫補助金等返還費

【補正額】
 6億6254万4千円

津波被災住宅再建支援事業などの終了により交付金の残額を国に返還

②災害救助費

【補正額】
 2億079万8千円

東日本大震災・令和元年台風19号の義援金を配分

③海岸通地区震災復興市街地再開発事業

【補正額】
 1億6340万円

再開発事業で生じている収支差額について、上限を設けながら援助交付金を交付

④漁港施設災害復旧費

【補正額】
 1800万円

東日本大震災に伴う寒風沢漁港物揚場復旧工事について、令和3年2月の福島県

沖地震により被害が発生したため工事内容を追加

4 原油高騰対策事業

【補正額】
 2808万円

①原油高騰対策灯油購入費

【補正額】
 2430万円

住民税非課税世帯のうち75歳以上の高齢者世帯などに5千円の灯油購入券を配布

②浅海漁業振興支援事業

【補正額】
 378万円

原油価格高騰の影響が著しい浅海漁業者に対し、令和4年1月から3月までの間、燃油1リットルあたり30円の購入費を補助

5 通常事業

【補正額】
 7479万円

①生活保護扶助費

【補正額】
 6千万円

生活保護受給者のうち、入院患者、施設入所者及び介護サービス利用者が当初見込みより増加したため予算を増額

②木造住宅震災対策事業

【補正額】
 862万4千円

昭和56年5月前に建築された木造住宅に対する耐震診断や耐震改修工事費用などの助成について、申請件数が当初より増える見込みであることから予算を増額

③危険ブロック塀等除却事業

【補正額】
 140万円

通学路などに面した危険なブロック塀などの除去に要する費用の一部助成について申請件数が当初よりも増える見込みであることから、予算を増額

特別会計

【補正額】
 4354万4千円

①魚市場事業

【補正額】
 340万円

塩竈市魚市場への水揚げについて、水揚金額に応じて原油高騰対策補助金を交付

②介護保険事業

【補正額】
 4014万4千円

施設利用者などが当初よりも増える見込みであることから、予算を増額

所管事務調査報告

12月定例会初日に産業建設常任委員長から所管事務調査報告が行われました。その概要は次のとおりです。

①都市開発及び市街地整備事業(海岸通地区震災復興市街地再開発事業2番地区工事の遅延について)

海岸通地区震災復興市街地再開発事業については、いまだに事業完了が見えない状況であることから、閉会中に委員会を開催し当局から説明を受けるとともに、同日に一般会議を開催し再開発組合と意見交換を行った。その内容を踏まえ、市当局及び再開発組合に対し事業完遂に向けて引き続き努力されることなどを要望する。

②「水産業及び魚市場事業に関すること」(海外輸出向け牡蠣養殖事業)

これまでの養殖方法とは異なる海外輸出向け牡蠣養殖事業について、浦戸での養殖の様子を現地視察し、事業者との意見交換を行った。これまでの牡蠣養殖の在り方を変えるものであり浦戸振興策になげられるよう要望する。



ワクチン接種会場 (津波防災センター)

常任委員長

報告

12月定例会において、議案7件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 鎌田 礼二

○議案第66号及び第67号、第69号、第72号は原案のとおり可決すべきものと決しました。
 「塩竈市行政組織条例の一部を改正する条例」についての要望意見」

○組織体制の見直しは、業務量を継続的に検証し、職員配置を適切なものとされたい。

「塩竈市非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例」についての要望意見」

○学校で防災教育に取り組み将来的な人材の育成に努められたい。

「一般会計補正予算要望意見」

○学校給食調理業務の一部委託の拡大は、スケールメリットが働くよう契約内容を検討されたい。

「工事請負契約の締結についての要望意見」

○契約事務は、入札情報の管理を徹底されるとともに、告示から入札執行までの期間を十分に確保されたい。



民生常任委員会

委員長 小野 幸男

○議案第68号及び第69号、第71号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○原油高騰対策灯油購入費助成事業は、助成対象世帯に高齢者が多いため、民生委員に協力を要請するなど、わかりやすく丁寧な周知に努められたい。

○新型コロナウイルスワクチン接種事業は、これまでの接種事業の教訓を生かし円滑な運営に努められたい。

「介護保険事業特別会計補正予算要望意見」

○本市において、介護施設や介護サービスの利用者が増加傾向にあるため、給付費の動

向などを分析するとともに、各介護施設などの情報交換や連携に努められたい。



産業建設常任委員会

委員長 阿部 眞喜

○議案第69号及び第70号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。なお、「海岸通市街地再開発事業収支差額援助交付金」に係る予算1億6340万円について付帯決議を行いました。

「一般会計補正予算要望意見」

○海岸通市街地再開発事業については、再開発組合の解散に向けて今後も情報をいろいろ示していただき、動向を注視していく。

○再開発組合事業の収支差額について、最終的には2億1440万円となり大変驚いている。市当局と再開発組合との情報共有を密に行われたい。

○漁船員感染症拡大対策事業については、水揚げ漁船乗組員に「抗原検査キット」を無償配布することにより、安全安心な施設利用を促進しようとするものであるが、塩釜保健所と相談しながら水際対策が効果的なものとなるよう取

り組まれたい。

「付帯決議」

○「海岸通市街地再開発事業収支差額援助交付金」の執行にあたっては、海岸通1番2番地区市街地再開発組合における自助努力の実績などを見極めながら、適宜議会に報告し適切に予算を執行されたい。

「魚市場事業特別会計補正予算要望意見」

○水揚げ船燃油高騰対策緊急支援事業については、水揚げ漁船を保有する船会社に対し丁寧な説明を行うとともに、卸売事業者、問屋などの関係者と連携し、水揚げ漁船の誘致に努められたい。

塩竈市長期総合計画特別委員会

特別委員長報告

塩竈市長期総合計画特別委員会

委員長 土見 大介

○継続審査となっていた議案第64号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○各施策がライフステージに合わせイメージしやすくなるよう示し方を工夫されたい。

○一層のSDGs推進を図られたい。

○自主財源を活用した積極的な施策の実施を図られたい。

○4つのプロジェクト推進は、

課題などを明確にし、具体的な問題解決に向けた施策となるよう努められたい。

○島の活性化のため、緊急時の医療体制の整備などに努められたい。

○脱炭素社会に向け、旗振り役となれるよう努められたい。

○市民満足度の調査は、SNSなどを活用し、調査対象を幅広く取られたい。

○定員管理は、本計画の達成を主眼に置いた組織体制を取られたい。また、経費の削減と質の確保とのバランスを取られたい。

○市民協働は、多くの市民が参画できるような情報提供を行われたい。

○婚姻率向上につながる施策を実施されたい。

○長期総合計画に沿った実施計画を展開し、目標が達成できるように努められたい。



長期総合計画特別委員長報告

塩竈市議会だより・会議録 バックナンバーについてのお知らせ

塩竈市議会だより

塩竈市議会だよりのバックナンバーは、平成16年6月定例会号から塩竈市のホームページで公開しております。

「塩竈市議会だより」をキーワードに検索！

塩竈市議会だより

検索



下記のQRコードでもアクセスできます。



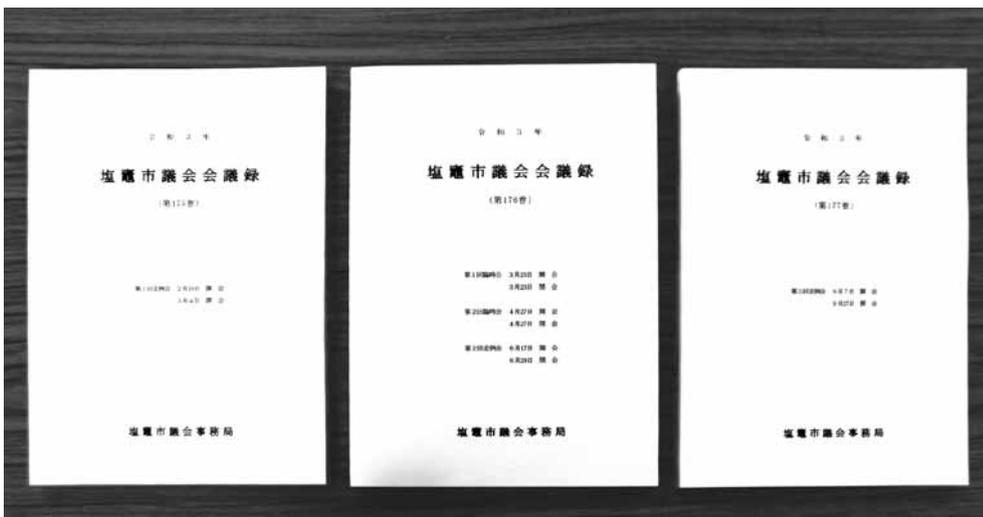
塩竈市議会会議録

塩竈市議会会議録のバックナンバーは、平成16年第1回定例会から塩竈市のホームページで公開しております。
なお、冊子は塩竈市民図書館及びふれあいエस्प塩竈で閲覧できます。

「塩竈市議会会議録」をキーワードに検索！

塩竈市議会会議録

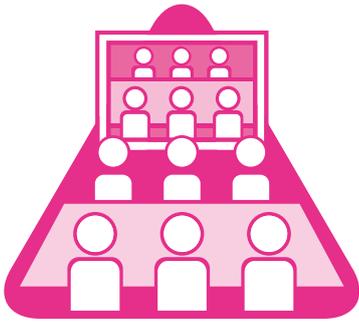
検索



下記のQRコードでもアクセスできます。



市政に対する 一般質問



市政に対する一般質問は、12月17日、20日の2日間に8名の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。

各種医療費助成は



日本共産党
塩竈市議員
小高 洋

議員 ①子ども医療費助成制度の拡充について、これまで何度も求めてきた。その中で、政策的位置づけや子どもの権利の考え方についての方向性は市と私も同じと受け止めている。所得制限の緩和や撤廃について、財源部分を含めた実施に向けての検討は。
②障害者医療費助成・母子父子家庭医療費助成制度について、申請の大変さや、自己負担額の全額を一旦支払うことのためらいが受診抑制につながりかねない。窓口での支払いが不要な現物給付、または申請の必要のない自動償還払い制度導入の検討は。
健康福祉部長 ①現在行っている助成対象年齢の拡大を含め、所得制限の緩和などについては市単独での財源を確保しなければならぬ。現在は基金を活用しているが基金に



子ども医療費受給者証

は限りがあり、恒久的な財源確保が課題となっている。
保険年金課長 ②現物給付については県内医療機関などと契約を締結し独自に電算システムを構築する必要があることからかなり困難。自動償還払いは対象者の一部の医療費情報のみ市が保有している状況などから申請が必要である。

本市の保育行政は

議員 本市の待機児童・保育児童の現状と今後の見通し、待機児童解消の取組について伺う。

また、今後の本市の保育施設

設の考え方について伺う。
今回行われた保護者向け説明会では、新しい保育施設の整備の方向性や、全体の民営化の考え方が示され、保護者から民営化ありきではないかと心配の声が出ている。
拙速に進めることなく、さらに意見の聴取を行い、最大限に尊重したうえで進められたいと考えるがいかがか。
市長 保護者の皆様への説明は常日頃からしておくべきと考えている。情報を十分に集めながら塩竈の保育にとって何が必要で、何をどう進めていかなければいけないのか、ご指摘のとおり丁寧に進めさせていきたい。
健康福祉部長 待機児童者数は年度当初で10名、11月時点で17名、保育児童は年度当初で24名、11月時点で45名となっている。受け入れ児童数を増やすため、保育士の募集を行うとともに、年度途中に対処する児童が発生した場合に待機児童がスムーズに入所できるように努めている。

その他の質問項目
①ヤングケアラーの支援は
②国民健康保険税の子どもの均等割は など

生理の貧困は



日本共産党
塩竈市議員
辻畑 めぐみ

議員 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、金銭的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」が問題になり生理ナプキンの無償配布が取り組まれた。市としてどうとらえているか。

これまで本市も含め、7百近い自治体が無償配布を行い、予算措置を行った自治体もある。松島町でも予算を組み支援する方向であるが、本市でも取り組まれてはどうか。

トイレにトイレットペーパーがあるように生理用品もあるべきであると思うがどうか。また、学校以外にも公共施設への設置を努力されたい。
市長 議員の皆さまからも要望があり、防災備蓄品について学校などを含めた公共施設で配布させていただき、その後の追跡調査も行った。

トイレに設置したほうが良



第1回しおがまリサイクル広場

CO2削減の取組は

議員 最近の異常気象により大規模災害が頻発し、深刻な事態となっている。これは温室効果ガスによる地球温暖化が大きな要因とされている。

国と地方自治体は一刻も早くこの地球温暖化防止に取り組みなければならぬ。CO2削減については市の考え方は、また、本市はどのような取組をしているか。

「2050年二酸化炭素の排出実質ゼロ」を表明した自治体は429自治体、県内では7市町が表明し、様々な取組がされている。本市でもゼロカーボンシティの表明を行い、CO2削減に向けて取り組まれているだろうか。

環境課長 CO2削減の取組として、魚市場の電動フォークリフト導入支援や公共施設の照明機器のLED化を進めている。今年度は初めて家庭で不要になった家具などを抽選でお渡しの事業を、ごみ減量化施策の一環として実施した。塩竈市環境基本計画において、令和6年度までに温室効果ガスの排出量を平成22年度比で3・4%削減するという目標を掲げているが、今後は、ゼロカーボンシティの表明を検討していく。

その他の質問項目

- ① 難聴の方に対する支援は
- ② 保育・介護施設に対するコロナ対策は

市政に対する一般質問



創生会

伊藤 博章

マリンゲート塩釜と塩釜港開発(株)は

議員 本市から指定管理者としてマリンゲート塩釜の管理を受託している第三セクター塩釜港開発(株)は、令和元年5月に無償減資を実施し、累積欠損金の解消を図り、純資産を前年度比3500千円以上延ばすなど、経営状況の改善が確実に進んでいる。

一方、他自治体では、施設を管理してきた外郭団体が、指定管理者の公募で民間企業に破れ、外郭団体が解散されるといった事例もあることから、塩釜港開発(株)にマリンゲート塩釜を譲渡することを検討する時期に来たのではないかと考えるが見解は。

産業環境部長 マリンゲート塩釜は、旅客ターミナル施設、観光拠点施設、地域交流施設としての役割を果たしており、前回の指定管理者の公募では塩釜港開発(株)1社のみ応募

であったが、前々回の公募では、2社から応募があったと記憶している。マリンゲート塩釜の譲渡については、一旦、公の施設として購入したものを手放すことの難しさや、手放した後の課題などを整理しながら、今後、宮城県と意見交換をしてまいりたい。

公民共創によるまちづくりは

議員 公民共創によるまちづくりについて次の2点を伺う。①市長は令和3年度施政方針で、「民間の知恵や技術を活用しながら、公民共創による

副業・兼業人材を活用する際のメリット

メリット1 必要な業務を必要なお金だけをお願いできる	メリット2 常勤で人を雇うより、費用を抑えられる
<ul style="list-style-type: none"> ① 必要な業務を必要なお金だけをお願いできる ② 3ヶ月で、プランニング戦略を考え直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 常勤 ② 25万/月 (原資なし) ③ 副業・兼業 ④ 10万/月 (3ヶ月)
メリット3 業務委託契約の場合契約の見直し(契約解除)ができる	
<ul style="list-style-type: none"> ① 予定より早くプロジェクトが終わった。 ② あまり相性が合わなかった。 	

副業・兼業人材の活用 (出典:宮城県プロフェッショナル人材戦略拠点)

地域課題の解決に努めてまいります。」と述べているが、その取組内容と成果の見込みは。②他自治体では、ICTなど既存の人材でカバー出来ない専門分野に副業人材を活用している事例がある。このことから、本市としても専門的な分野に副業人材を積極的に活用してはどうかと考えるが見解は。

公民共創推進専門監 ①観光宿泊施設と連携した「来て観て塩竈観光プロモーション事業」や事業者からアイデアを募り町のにぎわいにつなげる。「しおがま元氣UPプロジェクト事業」などに取り組み、地域経済の底上げに一定程度寄与できたものと考えている。

市民総務部長 ②DXなどには、専門的知識が必要である。そのため、職員の資質の向上という観点に目を向けながらも、民間の人材の登用方法には、様々な選択肢があるため、先進事例などを研究しながら、その事業ごとに合ったものはどれか見定めてまいりたい。

その他の質問項目

- ① 本市の学校給食は
- ② 税・公金収納等業務は

など



オール塩竈の会
阿部眞喜

塩竈市の環境は

議員 政府は2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする、カーボンニュートラルを目指すと言った。私は塩竈市をブルーカーボンの東北の基地とするべきと考える。海の豊富な資源を活かし、ブルーカーボンの基地とし、陸上養殖に取り組み、養殖の排水を肥料にし、グリーンカーボンも行える。そこで栽培した食物から代替肉として新たな水産の商品開発にも繋ぐことも考える。また、企業版のふるさと納税や観光にもマッチングでき、塩竈市の将来の可能性を感じるが市の見解は**環境課長** 今後の進め方としては、本市が目指すべき環境施策の方向性を、見定める必要があると考えている。そのためには、市民の皆様や事業者の皆様のご意見を聞き、共に議論をし、本市の特性を活



浦戸でのワカメ養殖

かした脱炭素施策の方向性の整理や検討をしなければならぬと考えている。また、自然に囲まれた本市は、カーボンニュートラルに向けさまざまな可能性を秘めていると思っており、地域資源を活かした、本市ならではのカーボンニュートラルの取組について、検討してまいりたい。

塩竈市立病院は

議員 塩竈市立病院の院内環境について伺う。新型コロナウイルスの影響で面会などができない状況が続いている。入院している患者の皆様のためにも、少しでも快適な環境を届けたいと考えるが、現在の入浴の環境改善やトイレの改修など行うことはできないのか。

また、支払いの際に、高額の入院費を払うことなどを考えると、クレジットカードでの決済ができるよう整備することが必要と考えるが、市としての見解は。

市立病院事務部長 病棟の浴室やトイレの改修に向けて、現在設計作業を行っている。今後療養環境の改善に取り組み、少しでも患者様が快適に過ごせるよう努めていく。

また、クレジットカード利用は、これまで手数料の負担が発生するなどの費用面から導入に踏み切れなかった経過があるが、高額な医療費の支払いに際し、多くの利用の要望があった。現在、収益全体への影響など勘案しながら、本年度に取り組んでいる病院情報システムの更新に合わせ、4月の導入に向け、検討を進めている。

その他の質問項目

- ① 男女共同参画は
- ② SDGsは
- ③ 健康経営は

など



オール塩竈の会
今野恭一

水産業並びに水産加工業の将来は

議員 水産業並びに水産加工業は、本市の基幹産業と言われて久しい。昭和52年に私が塩竈市に移り住んだ頃は、商店街やデパートは、人であふれ大変活気があった。しかし、バブルがはじけて以降、商店街は閑散とし、にぎわいが感じられなくなってしまった。これから港湾機能の強化や水産業・水産加工業の活性化をどのように図っていくのか伺う。

市長 港湾機能については、宮城県の所管であるが、私の選挙公約である国道45号線の直線化などを加味しながら、本市としての考え方をしっかりとお示しをする。その上で、議会の皆様と議論させていただきながら、より良いものを必要な機関に訴えかけてまいりたい。

水産業・水産加工業の活性化



さばの水揚げの様子

化については、全国の水揚げ高が半分近くまで落ちている中で、どうやって国内の都市間競争や世界の中での都市間競争を生き抜いていくのか。市としてどこまでできるかという問題はあるが、業界の方々と胸襟を開いて議論し、見直す時期に既に入っているのだからと考えている。

氏子三祭は

議員 鹽竈神社の祭りには、帆手祭、花まつり、みなと祭と3つの祭りがあり、中でもみなと祭は、日本三大船祭りに数えられ、多くの観光客が

市政に対する一般質問

集まってくる。本市としても塩竈みなと祭協賛会を組織し、深く関わっており、日曜日に前夜祭を行い、祝日である海の日に本祭を行っている。

しかし、市民からは、お祭りの日程を仕事に支障をきたさないようにしてほしいとの声があるが見解は。

産業環境部長 みなと祭の開催日については、過去に塩竈みなと祭協賛会において、アンケート調査や参加団体へのヒアリングなどを行い、神事を取り扱う鹽竈神社にもご理解いただいた上で、臨時総会を経て現在の日程とした経過がある。

議員がおっしゃるように、土曜日に前夜祭、日曜日に本祭を行えば、月曜日には、体を休められるということも一理あると考えるが、一方で過去に多くの方の賛同をいただきながら、日程を変えてきたという経過があるため、紹介いただいた市民の声については、貴重なお意見として受け止めていただきたい。

議員が内閣府の調査により、小学生のスマートフォン利用率が53・1%を超えたと報道があった。

この報道を見て私は、学校を離れたところでのSNSによる見えないイジメがあるのではと心配している。

現在、日本でのデジタル教育は情報モラル教育が主流であるが、昨今、諸外国ではデジタル社会における「善き社会の担い手」を目指す「デジタル・シテイズンシップ教育」が取り入れられている。

本市でもこの考えを取り入れた教育をすべきと考えるが見解は。

その他の質問項目
①今後の基幹産業は
②鹽竈神社を抱える門前町は
③商工・観光は など



オール塩竈の会
鎌田 礼二

教育は

議員 内閣府の調査により、小学生のスマートフォン利用率が53・1%を超えたと報道があった。

この報道を見て私は、学校を離れたところでのSNSによる見えないイジメがあるのではと心配している。

現在、日本でのデジタル教育は情報モラル教育が主流であるが、昨今、諸外国ではデジタル社会における「善き社会の担い手」を目指す「デジタル・シテイズンシップ教育」が取り入れられている。

本市でもこの考えを取り入れた教育をすべきと考えるが見解は。

議員 9月定例会で「ふるさと納税過去最高・宮崎県都市で135億円」という記事について取り上げ一般質問を行った。他自治体の成功例や

ふるさと納税は

時間や各種メディアを使ったはじめの防止などについて、自分たちで話し合い、児童会や生徒会を中心に発信するというものである。

この取組を今後も拡大させながら、自ら考え、正しい使い方を選択できる児童生徒の育成に努めてまいりたいと考えている。



情報モラル啓発リーフレット (出典：文部科学省)

特徴を調査し増収を図るべきであると提案したが、その後どうなっているか。

また、利府町では、全国紙一面(全紙)にふるさと納税の広告を入れる取組を行った。本市でも、新聞広告という手法を考えてはどうか。

人口を増やすには、他自治体に無い人口増加策が必要であり、その資金は、ふるさと納税しかないのではないかと。もう少し、力を入れた工夫を考え増収を図っていただきたいが見解は。

結婚支援は



公明党
小野 幸男

議員 国は、結婚に伴う住居取得費用や住居賃借費用、引っ越し費用などを補助する市町村に対し経費の2分の1を補助する「結婚新生活支援事業」を実施している。コロナ禍を受けて、年齢要件や年収要件も引き上げられた。内閣府の調査では、この事業を利用した新婚世帯に聞いたところ、66・9%が「とても役に立った」、30・5%が「ある程度役立った」と答えており、若者の結婚を後押しする効果があることは明らかである。

本市でも、「結婚新生活支援事業」の導入をとお考えが見解を伺う。

PR方法としては、昨年11月時点で1サイトだったふるさと納税受付サイトを4つに増やし、さらに波及効果が大きいとされる、ふるさと納税受付サイトトップページにおける「PR特別枠」を活用し、全面的に本市を出していけるようPR活動を行った。

その他の質問項目
①人口増加策は
②市立病院は
③魚市場は など

議員 子育て支援など少子化対策について、様々な事業を行っているが、結婚支援も少子化に歯止めをかける有効な取組であると考えている。

この支援事業は、新婚世帯



塩竈市オリジナル婚姻届

奨学金返還支援 制度は

議員 日本学生支援機構によると、返済が必要な貸与型奨学金の利用は約129万人で、学生の2・7人に1人が利用

のスタートに係るコスト軽減が図られるなど、結婚資金に不安な若者の結婚を後押しする効果が高いと考えており、少子化対策の一つとして、先進事例の調査などを踏まえ導入を検討してまいりたい。

市民生活部長 補助率が高い都道府県主導型市町村連携コースについても、内容を精査確認し検討してまいりたい。

しており、その返済に苦勞する人が多い。奨学金利用者の負担軽減に向けて、自治体や企業が返済の一部を肩代りする制度が実施されている。昨年の6月にはこの制度が拡充され、国庫補助は、上限があるものの2分の1から全額補助へと大幅に拡充された。奨学金返還支援は若い世代の関心が高く、本市でも制度の導入を考えると考えるが、見解を伺う。

市民生活部長 この支援制度は、地域の産業の担い手である若者の地元企業への就職や定住、移住などを促す大きな取組として、全国でも導入の事例が増えている。県内でも、仙台市をはじめ5市町が導入している。

本市においても、若者の地元への定着、本市への移住を進める上で非常に重要な取組になるのかと捉まえている。特別交付税の措置という国の財政支援もあることから、今後、出身地や職種、支援の額や期間などの整理をした上で導入に向けて検討を進めてまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 新型コロナウイルス感染症の再拡大への備えは



無所属の会

西村勝男

安全対策への 予算措置は

議員 多くの市民や町内会長から、住環境の補修・整備に

対し要望がきており、私ども議員も要望している。対応窓口は、緊急度合いで優先順位を決め、前年度の積み残し案件を精査し今年度の作業計画を実施していると思う。3年前赤坂地区、昨年新浜地区の路側帯カラー化、今年7月に学校施設崖の伐採作業を町内会町名で要望書を提出した。本年9月に令和4年度に工事作業を行うとの回答が来たが、毎年積み残されている要望案件は何件あるのか。また、住環境の整備に関する予算が十分ではないようだが、どのように対応されているのか伺う。

建設部長 交通安全対策特別交付金が毎年約800万円本市に交付されており、カラー舗装など、交通安全施設の整備に使われている。

また、毎年少しずつではあるが予算を増額しており、引き続き限られた予算の中で、優先順位をつけ安心安全なまちづくりを目指し、計画的な実施に取り組んでまいりたい。

土木課長 令和2年度の要望苦情は785件。路側帯カラー化は、今年度3路線行い積み残しは来年度以降4路線ある。

温暖化対策と リサイクルは

議員 温暖化防止策にかかる様々な補助メニューが多く国から提示されている。清掃工場について、耐震補強工事を進め適切に維持し、方向性を



対策が求められる清掃工場

検討していくとあるが現況と検討された結果を伺う。また、「人体をむしろばむプラスチック」という番組が放送され、プラスチックの微粒子は、食品や水・大気中でも発見され、人に対してどのようなリスクがあるか研究が進んでおり、乳がん・不妊治療・注意欠如多動症・発達障害などを発症する要因になっているのではという内容であった。ごみのリサイクル率は、塩竈市は20%、北海道倶知安町66%、香川県三豊町64%となっており、数値を高めるための方策を検討されているのか伺う。

環境課長 清掃工場は、現段階において、あらゆる方向性を含めた検討を進めていく考えであり、処理方式を含め方向性についてはまだ定まっていない状況である。また、リサイクル率向上策は、ごみの分別や処理方法などを、ホームページ、広報紙、SNSなどを利用し啓蒙活動を行っており今後もごみの減量化など推進してまいりたい。

- その他の質問項目
- ① 学校教育現場での環境教育は
 - ② 行政事務のデジタル化への対応は
- など

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成
 ×：議案等に対して反対
 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 件名	会派名 議員氏名	公明党	日本共産党 塩釜市議団					創生会	オール塩竈の会					かいしん	風の会	無所属の会	審議結果		
			浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	辻畑めぐみ	伊藤博章	土見大介	香取嗣雄	阿部かほる	阿部眞喜	鎌田礼二	志子田吉晃	今野恭一		志賀勝利	山本進
12月定例会	議案第64号	第6次塩竈市長期総合計画基本構想及び前期基本計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第65号	令和3年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第66号	塩竈市行政組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第67号	塩竈市非常勤消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第68号	塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第69号	令和3年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第70号	令和3年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第71号	令和3年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第72号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第73号	令和3年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※ 所属会派は12月22日時点のものです。

令和3年10月18日に開催された臨時会において、塩釜地区消防事務組合議会議員のうち、阿部かほるに替わり今野恭一が選任されました。塩竈市議会選出の消防事務組合議会議員は次のとおりです。

小野幸男
 今野恭一
 土見大介

塩釜地区消防事務組合議会議員について



一般会議報告書へのQRコード

令和3年10月21日に「海岸通地区震災復興市街地再開発事業について」を議題とし、海岸通1番2番地区再開発組合の皆様と産業建設常任委員会委員による一般会議が開催され、完成が遅れている現状と現在抱えている課題などについて、意見交換を行いました。

※詳細は、「一般会議報告書」としてホームページでご覧いただけます。

一般会議について

新しい年を迎えました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で各種生活支援の実施やワクチン集団接種など、これまでに無かった事業が実施され、議会においても活発な議論がなされました。今年も市民の声を伝え、市民のための議論を行ってまいります。

編集後記

次回の定例会は
2月15日(火)
 午後1時開会予定です

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されています。

本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所(本庁)4階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際に携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。

詳しくは、議会事務局まで。 ☎ 022-355-6793